

# 週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和元年 6 月 25 日

## 豊中ロータリークラブ

第 2851 回例会

第 2434 号



インスピレーションになる

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2018～19 年度  
国際ロータリー会長  
バリー・ラシン

BE THE INSPIRATION

Rotary



2018.7～2019.6

会 長 武枝敏之  
副 会 長 谷野桂子  
幹 事 矢口正登  
雑誌・広報・会報委員長  
森本博明

### 本日（6 月 25 日）のプログラム

#### 「一年を振り返って」

会 長	武枝 敏之
副 会 長	谷野 桂子
幹 事	矢口 正登

### 次回（7 月 2 日）のプログラム

#### 「新年度運営方針」

会 長	松山 辰男
副 会 長	矢野 昭
幹 事	米田 眞

### ☆会長の時間☆

「最後の会長の時間」

2018-19 年度 会長 武枝敏之

6 月の最後の例会です。振り返りますと、この 1 年間は、本当に短い時間だったと思われま

す。年間の行事については後ほどの卓話で述べさせていただきます。

2018 年 3 月 3 日の PETS から会長エレクトの仕事が始まりましたが、右も左もわからずぼんやりとロータリーについての講義を聞いていたように思います。

会長を引き受けた時から、毎回の例会での会長の時間をどのようにすればいいかそれだけで頭の中がいっぱいでした。会長経験者の先輩諸氏にお尋ねすると、会長の時間は、会長が思ったことを好きなようにすればいいんだとアドバイスを受けました。

会長就任の 7 月のスタート時までには、ほぼ 10 回分のあいさつ文を作っておりました。

1 回の文章も、何回も書き直しミスはないか、奇妙な言い回しはないか。など様々なチェックをしました。それでも、なかなか良いものはできなかつたと思います。回を重ねるうちにその週の行事などの報告を交えたものに変えました。

PETS で強調されておりました「クラブの強化」即ち会員増強についてのお願いも、最初の何か月は、会員の友人を例会にご招待してくださいとお願いをさせていただきました。

会員の皆様一人一人の方が、会員増強の意識を持っていただいたことに感謝申し上げます。避けられない事情で退会された方が 3 名出ましたが、新会員が 3 名になり、結果的には現状維持ですが皆様のご努力の結果だと思

います。ありがとうございます。

この 1 年間、何とか無事終わることが出来たのは、谷野副会長、矢口幹事、横田 SAA はじめ会員の皆様のご協力ご援助によるところが多

大でありました。1 年間ありがとうございました。

### 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内  
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例会日時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事務局：10 時～16 時（土日祝を除く）

HP アドレス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

## 例会出席報告☆

	第2850回	第2847回
例会日	6月18日	5月21日
①会員数 A	37	37
(内出席免除者)	5	5
②出席義務者数	32	32
③出席義務者出席数	19	21
④出席免除者出席数	4	1
⑤メイクアップ数		3
⑥出席義務者欠席数	13	11
出席率 %	63.80%	75.00%

出席率(前回) = ③+④/②+④ 出席率(前々々回) = ③+④+⑤/②+④

## ○幹事報告○

- ・国際ロータリー本部より  
「為替レート方針変更のお知らせ」が届きました。  
世界各地の会員にとって最も正確な市場を反映したレートをご提供する最善の方法であると考え、2019年7月1日より、国際ロータリーの為替レートは、毎月の初日における市場実勢相場に基づくこととなります。
- ・〈公財〉ロータリー米山記念奨学会より  
「世話クラブ補助費送金のご案内」が届きました。
- ・国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所より  
「ガバナー公式訪問に関する書類とお願い事項送付の件」が届きました。

## 👁️ 掲 示 板 👁️

- ・次年度一親睦委員打ち合わせ  
日 時：6月25日(火) 本日例会終了後  
場 所：ホテルアイボリー例会会場前
- ・ニコニコクイズ  
日 時：6月25日(火) 本日例会会場  
場 所：ホテルアイボリー3F
- ・新旧理事・役員懇親会  
日 時：6月29日(土) 18:00~20:00  
場 所：がんこ石橋苑
- ・豊中市“社会を明るくする運動”  
日 時：7月1日(月) 16:25集合 16:30開始  
場 所：きたしん豊中広場集合
- ・2019-20年度第1回定例理事会  
日 時：7月2日(火) 例会終了後  
場 所：ホテルアイボリー例会会場
- ・新会員歓迎納涼会  
日 時：7月27日(土) 18:00~  
場 所：千里阪急ホテル

※7月30日(火)は新会員歓迎納涼会の振り替えの為休会です。

## ♥️6月18日のニコニコ箱報告♥️

- ・SILOM RCの皆様より多額のニコニコを頂きました。
- ・誕生日祝いを頂いて 松尾会員
- ・SILOM RCの皆様ようこそ豊中RCへ  
矢口、武枝、谷野各会員
- ・豊中RC創立60周年お祝い  
中井、都井、岩本各会員
- ・豊中RC在籍30年以上の表彰を受けて  
中井、田中、木村各会員
- ・60周年式典お世話になりました。 米田会員
- ・SILOM RCからお土産を頂いて 松山会員
- ・欠席のお詫び 都井会員

## ♪本日の唱歌♪

高原列車は行く

作詞：丘灯至夫 作曲：古関裕而

1. 汽車の窓から ハンケチ振れば  
牧場の乙女が 花束なげる  
明るい青空 白樺林  
山越え 谷越え はるばると  
ララララ ララ ララララララ  
高原列車は ラララララ 行くよ
2. みどりの谷間に 山百合揺れて  
歌声ひびくよ 観光バスよ  
君らの泊りも 温泉(いでゆ)の宿か  
山越え 谷越え はるばると  
ララララ ララ ララララララ  
高原列車は ラララララ 行くよ

唱歌担当 小牧義昭会員

## 唱歌担当：

- ・7月2日「豊中RCの歌」 北村会員
- ・7月9日「たなばたさま」 小牧会員

## 6月チーフ：小川会員

### ◎副幹事・副SAA当番◎

- 6月副幹事 眞下 節 会員
- 6月副SAA 小寺潤一 会員

### ◎親睦委員会受付当番

- 6月18日 志水会員、西藏会員
- 6月25日 今川会員、眞下会員

## ☞6月18日の卓話☞

「一年を振り返って」

職業奉仕委員会委員長 矢野 昭



本年度の職業奉仕委員会の活動としましては、平成31年10月18日の職場見学会をアサヒビール吹田工場で缶ビールの完成までの製造ラインの見学、次に大阪医科大学関西 BNCT 共同医療センターを見学しました。

BNCT とはホウ素原子と中性子との核反応を利用してがん細胞を内部から選択的に破壊死滅させる治療法です。また、職業奉仕月間に当たる1月には、地区職業奉仕委員の木越正司様をお招きし、「ロータリーは人作り」を演題に卓話とフォーラムをお願いしました。これからの職業奉仕は世の為、人の為、に行動する人達を育てる、すなわち外なる人づくりをするのがロータリーの役目といえるのではないかということに関し、フォーラムでは意見を交換しました。

この一年間、職業奉仕活動にご協力ありがとうございました。

## ☞6月18日の卓話☞

「一年を振り返って」

社会奉仕委員長 宮田幹二



毎年恒例の「社会を明るくする運動」（2018年7月2日（月）、豊中駅前での啓発活動、ティッシュ配り）を行いました。「豊中市まちを美しくする運動（豊中駅前での清掃活動）」は2019年6月に行う予定でしたが、本年度はG20が大阪で開催されることにより中止となりました。

豊中祭り（2018年8月4日（土）5日（日）、豊島公園）への協賛（一万円）、「ポリオ撲滅運動」への寄付（一名当り\$50）、夏期のクールビズ例会（5月28日より）を継続して行いました。

西日本豪雨災害に対し、例会で募金箱を回し、義援金（合計38,000円）を送りました。

社会奉仕フォーラムは、社会奉仕月間に合わせ、3月12日（火）に開催しました。大阪YWCA点字子供室の代表澤田祐子氏と貸出担当竹内和子氏を招待しました。「YWCAの成り立ちと今後の課題」と題して、1981年より継続されているボランティア活動（児童書の点訳と点訳本の無料貸出）について卓話をされました。例会後のフォーラムでは、率直な意見交換を行い、児童書の蔵書数では国内一に成長した活動を今後も維持する意欲を強く示され、会員一同感銘を受けました。

なお、このフォーラムは青少年奉仕委員会との合同で開催されました。当初予定の青少年・社会奉仕委員会合同での「子供食堂への支援」については、今後も検討課題となります。

最後に、関係者の皆様には大変な御尽力を賜り、深謝致します。

「一年を振り返って」

国際奉仕委員会委員長 松尾宗好



今年度、国際奉仕委員長を承りました松尾でございます。よろしくお願いたします。

一昨日、豊中 RC 60周年式典が挙行されましたが、タイ国シーロム RC から、会長さんをはじめ、会員の皆様が、お祝いに来ていただきました。おかげをもちまして、国際色豊かに、また、盛大に開催することができました。誠にありがとうございます。

さて、今年度国際奉仕委員会は、前期に終結しました、GG1863636 の状況確認をするため、提携し実施したタイ国シーロム RC を訪問視察いたしました。本日ご出席いただいております、シーロム RC 会長さんをはじめ、補助金申請からご協力いただいておりますカセムチャイサさん、いろいろお世話いただいたターさんをはじめ、会員の皆様ようこそ、豊中 RC 例会に、お越しいただき、誠にありがとうございます。

「国際奉仕は、書物などを読むことや通信を信じて、さらには他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動や、プロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や習慣、功績、願い、問題に対する認識を培い、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動からなるものである」としております。これはロータリークラブ定款第6条 五大奉仕部門 第4項 奉仕の第四部門である、国際奉仕の項に規定されている文章でございます。

ロータリーの心と実践、国際奉仕 9.3 には、国際奉仕の分野は①人道的国際奉仕活動、②国際レベルの教育および文化活動、③特別月間と催し、④国際的な会合の 四つの分野があると記されています。

今年度の事業としましては、「人道的奉仕活動」に取り組んでまいりました。それは、2017-2018 年度に地区に申請しておりましたタイ国のシーロムロー RC との医療機器を寄贈するという事業でございます。RI への補助金申請を前年度から行っていましたが、前年度末に無事にパスし、その後順調に進展してまいりました。今回の事業は、前回と少し異なりまして、人工透析器をはじめ、医療用ベッドや医療器具、車椅子等、種類が多く幅広い内容となっています。その中で特に大切なのは、現地での医療関係者による慢性病の予防教育があります。ただ、医療機器を寄贈するというだけではなく、予防知識の普及も大切なことです。そのためには、現地での医師と医療機器の専門家等医療関係者への指導を十分にできるよう、タイ国の先進地域から地方へ、教育された医療スタッフを派遣して、慢性病の予防指導を推進していかなければ、折角の DDF での医療機器や医療器具の寄贈行為が無駄にもなりかねません。そして、DDF で援助しただけでは終わりでは、成果もなんらわかりません。

そのため、今年度は、どのような支援ができるのか、他にどのような要望が有るのか、どのような成果があったのかフォローできること等確認するため、タイのシーロムロータリクラブからの要請もありましたので、2月21日から25日にかけて、武枝会長・矢口幹事・松山会長エレクトと総勢10名で視察訪問を実施いたしました。

また、2月は「平和と紛争予防/紛争解決月間」という特別月間に当たりますが、視察日程の都合で卓話並びに国際奉仕フォーラムは3月19日に IM1組青山ガバナー補佐も出席いただき、実施いたしました。

最後になりますが、タイ視察の結果、いずれの病院からの要望も、RC の支援がまだまだ期待されていることを、ひしひしと感じました。

「継続は力なり」といいますように、今後とも、このプロジェクトを続けていくことを願い、本日の“一年を振り返って”を終わります。

今年一年、国際奉仕委員会へのご協力ありがとうございました。

6月18日の例会にお越しの  
SILOM RC の皆様



## 6月18日の卓話

「一年を振り返って」

青少年奉仕委員会 畑田耕一



青少年奉仕委員会の主たる活動は教育フォーラムと大阪大学理学研究科と基礎工学研究科の外国人留学生支援事業ならびに小・中・高等学校への出前授業である。

教育フォーラムは、主として学校教育・社会教育に関わる問題をその道の専門家・学校教員・海外からの留学生・ロータリークラブの会員に学生・生徒も加わり3時間にわたって詳細に議論する集まりである。1999年2月27日に始められたこのフォーラムは、世界の若者とロータリアンが教育問題を語り合う場としても機能し、その成果のかなりのものは豊中RCならびに畑田家住宅活用保存会のホームページに詳しく報告されている。「AIと教育―道徳と四つのテストに照らして」を主題として行った本2019年1月26日のフォーラムは21回目で、AIと人間が共存するこれからの社会では市民の全てがその能力に応じて「いかにしてAIとともに生きていくか」を真剣に考え続ける使命と責務を負っていることを痛感する機会となった。詳細な報告は2019年7月中にホームページに公開の予定である。

この間、2001年度のフォーラム終了後、「議論ばかりでなくその結果を踏まえた教育関係の実践活動をしては」という声が出て、当時その必要性が叫ばれていた初等・中等教育への出前授業を、主として豊中市内の小学校、中学校を対象に、豊中市教育委員会の支援を得て2001年4月から始めることになった。このように、豊中RCの出前授業は教育フォーラムの実績と経験の上に立って発足し、理論と実践が車の両輪のごとくに機能しあうロータリーの奉仕の理想に叶ったものである。本2019年度は小学校3校(千成、西丘、南丘)中学校3校(6中、10中、14中)と西宮市立西宮高等学校の12時限分の授業をロータリー会員4名と非会員2名で担当する予定である。

豊中ロータリークラブでは、ロータリー財団国際親善奨学生、米山奨学生の世話クラブとしての受入れのほかに、当クラブ独自の外国人留学生支援事業を行っている。この事業は、国際交流の一環として、大阪大学理学部ならびに基礎工学部の外国人留学生懇親パーティーでの話題がきっかけとなって生まれたもので、2006年9月に澤木政光会員を委員長とする留学生支援特別委員会を設置し、2006年10月に外国人留学生支援事業を発足させる運びとなった。基金の名称は豊中ロータリークラブ留学生基金とし、2006年7月5日に奉仕活動会計より3,100,000円、2006年8月2日に一般会計より1,000,000円を振替えて発足した。奨学金は月額75000円、期間は博士後期課程の留学生が博士号を取得するまでの最長3年間である。この事業は当初10年の時限で発足したが、クラブ会計からの振り込みが若干多かったのと地区補助金の申請が認められるようになったので、現在も継続して行っている。奨学金支給額は予算の都合で月額50000円になっている。

留学生には豊中RCの例会で年間2回以上研究の報告をすることが義務づけられているのと、出前課外授業への講師としての参加が推奨されている。支援奨学生は下表の通りである。奨学金の支給が終了した学生も可能であれば例会に出席してもらっている。

### 大阪大学理学研究科

ポー・ホン・ハイ(ベトナム)	2006年11月～2008年3月	
Bao Guang-ming(中国)	2008年4月～2010年9月	
Francisco Corpuz Franco Jr. (フィリピン)	2011年10月～2013年9月	
Leila Alipour(イラン)	2012年10月～2015年9月	地区補助金(2013年10月～2014年9月、405000円)
Li Yan(中国)	2015年10月～2017年9月	地区補助金(2016年10月～2017年9月、333846円)
Wong Ting Sam(中国)	2017年10月～2019年9月	地区補助金(2018年10月～2019年9月、450000円予定)

### 大阪大学基礎工学研究科

ヴ・ズン・ヴァン(ベトナム)	2006年11月～2009年9月	
Haghparast S.M. A. (イラン)	2009年10月～2012年9月	
Dong Haisong(中国)	2013年4月～2016年3月	地区補助金(2015年10月～2016年3月、212784円)
Lai Yenting(台湾)	2016年5月～2018年9月	
Li Jiyao(中国)	2019年4月～	

なお、社会奉仕委員会の報告にあったように、3月に点字図書館についての卓話を聞いた後、社会奉仕・青少年奉仕両委員会合同のフォーラムを行った。点字図書館の活動についてのお話は感動的であった。